


# 最上総合支庁ニュース

MOGAMI

2026年10月号

発行元　最上総合支庁総務企画部
総務課　総合案内窓口
電話:0233－29－1360
FAX:0233－23－2605

公式X　HP

## 「地域の明るい未来フォーラム in 最上」開催



知事が最上地域の市町村長と地域の未来について語り合う「地域の明るい未来フォーラム in 最上」が、10月23日(金)に新庄市民文化会館において開催されました。

県から本県の人口減少の状況等の説明を行った後、各市町村の取組みが紹介されました。続いての意見交換会では、「人口減少の時代に地域社会を維持していくための方策」「魅力ある働く場の創出」「最上地域の経済成長に必要なもの」などについて活発な議論が行われました。知事からは、「最上地域は豊かな自然環境や伝統文化などに恵まれている。一方で、県内で最も人口減少が進んでいるなど課題も多く、これまで新庄病院の移転改築や東北農林専門職大学の開学などに注力してきた。高規格道路の縦軸と横軸が交わる交通の要衝としての地の利と素晴らしい地域資源を活かした交流の拡大を通して、大きな可能性に満ちた地域であると捉えている。」との発言がありました。



知事と市町村長の意見交換会は、今後、県内の他の地域でも順次開催されます。

［総務課　29-1211］

## 「県民まんなか」みらい共創カフェ



知事と県民が語り合う「『県民まんなか』みらい共創カフェ」が、10月23日(金)に新庄市の「Reframe laboratory（リフレイムラボラトリー)」で開催され、地域おこしイベントの企画運営やボランティア活動を行う若者を中心としたグループ「Team もがみ」のメンバー５名との対話が行われました。

はじめに、代表の矢口恭平さんから、今年実施した「もがみ多国籍料理フェス2026」や「戸澤神社縁日」などの活動報告がありました。意見交換では、「外国人の方に喜ばれるのは職場との往復だけの生活ではなく料理文化の交流があること」、「得意分野が異なる者同士が集まって全体で地方創生に向かっていくことで、感情的にも豊かになる」等の意見がメンバーから述べられました。



吉村知事からは、「そこに住んでいる人が、未来をどうしていきたいかを考えることが地域発展への原動力につながる。『Team もがみ』はそのモデル」と発言がありました。

［総務課　29-1205］

## 医療の仕事体験学習会



最上地域では医療従事者の不足が課題となっていることから、医療の仕事への理解を深めてもらうため、９月８日(火)、新庄志誠館高校で「医療の仕事体験学習会」を開催しました。生徒たちは、地元の医療従事者の指導を受けながら実践的な体験学習に取り組みました。

また、山形大学の看護実習生がサポートスタッフとして参加し、看護を学ぶきっかけや学生生活で感じたことなど、高校生へのメッセージを伝えました。参加者からは、「医療への興味が高まり、将来るの進路について考える機会になった」などの感想が寄せられました。

［保健企画課　29-1257］

## 高校生が工事現場で体験!

９月４日(金)、県が発注したため池工事の現場で、高校生の現場体験技能実習会を開催しました。実習会には、新庄神室産業高校環境デザイン科の３年生４名が参加し、ため池堤体盛土の締固め試験や最新の測量技術などを体験しました。

生徒たちは、どの体験にも積極的に取り組み、「学校では扱わない機器を使うことができて勉強になった」という前向きな感想も聞かれました。

実習を通して、日頃学校で学んでいる土木技術が建設業でいかに大切であるか、生徒たちが体感する貴重な機会となりました。

［農村計画課　29-1339］



## ✨未来の進路を考えるきっかけに

９月３日(木)、若者の地元定着・地元回帰を目的に、新庄志誠館高校の生徒及び保護者を対象とした「進路講演会・保護者セミナー」を行い、140 人が参加しました。

山形大学学士課程基盤教育院の松坂暢浩教授を講師としてお招きし、高校生のうちから働くことを考えて将来を具体的に考える大切さや、全国や世界で活躍する最上地域の企業・仕事があること等を紹介いただき、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

また、講師から保護者には、「親が子どもにできることとして、寄り添う姿勢を持ち、情報を集め、最終的な決断を子どもに委ねることが大切である」等、子どもとの向き合い方についてアドバイスがありました。

［地域産業経済課　29-1309］



## 企業の魅力を「発信力」に変える

９月８日(火)、企業の魅力を効果的に伝える情報発信方法を学び採用力の向上を図る「採用ブランディング・情報発信ステップアップセミナー」を新庄市エコロジーガーデンで開催しました。

講師のグラッシーデザイン株式会社 内藤秀一氏は、「学生には『情報』で会社に興味を持ってもらい、インターンシップなどの『体験』を通して働いてみたいと思ってもらうことが大切だ」と話し、インターンシップの強化を呼びかけ 16 名の参加者の理解を深めました。





後半は、現役大学生と企業がグループワークを行い、企業が伝えたい魅力や学生が知りたい情報の違いを発見しました。

学生からのリアルな意見に触れることができ、採用に悩む企業にとって今後の採用活動や情報発信の改善につなげるヒントが得られるセミナーとなりました。

［地域産業経済課　29-1309］

## ふるさとをまもり未来をつくる土木技術者のはなし

９月 14 日(月)、新庄神室産業高校を会場に、新庄・最上ジモト大学「ふるさとをまもり未来をつくる土木技術者のはなし」が開催され、高校生 28 名（神室産業高校２年生 11 名、新庄東高校１年生、２年生 17 名）が参加しました。

第１部のパネルディスカッションでは地元の若手技術者５名のパネリストから「高校生に伝えたい私の仕事の魅力とそれにまつわる物語」をお話いただきました。第２部のパネリストを含めた若手技術者との意見交換会では、事前に行われた「人間クレーン競争」というアイスブレイクにより参加者同士の緊張がほぐれ、若手技術者と生徒たちの間で活発な交流が行われました。

生徒たちには、普段聞くことのできない現場の生の声に触れ、土木技術者の仕事への理解を深める貴重な機会となりました。　［建設総務課　29-1373］


「人間クレーン競争」の様子

## JR 浦和駅 にて 最上･庄内観光 PR イベント開催！

９月 18 日(金)～９月 23 日(水・祝)、JR 浦和駅で観光 PR イベントを開催しました。観光パンフレットの配布や、最上地域観光協議会の SNS をフォローした方の中から抽選で当たる、最上・庄内地域の特産品プレゼントキャンペーンを行いました。また、ご当地キャラクターとのグリーティング等を通じて、最上・庄内地域の魅力を PR しました。



最上地域に興味がある方も多く、JR を利用した最上地域へのアクセスやおすすめの観光情報を紹介し、関心を深めていただきました。　［観光振興室　29-1311］



## 高病原性鳥インフルエンザ･口蹄疫･豚熱等防疫演習開催

９月 29 日(火)、最上総合支庁講堂で、高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の悪性家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を開催しました。演習には支庁職員のほか、市町村や JA の職員など、計 72 名が参加し、防護具（防疫服、ゴーグル、マスク等）の着脱方法、防疫作業の手順等を確認しました。

国内では毎年、高病原性鳥インフルエンザや豚熱が発生していることから、参加者は危機感を持って演習に臨んでいました。

［家畜保健衛生課 29-1356］





## 県内最大のきのこ産地で もがみのきのこ即売会開催

10 月 15 日(木)きのこの日にあわせて、最上総合支庁１階ロビーにて、もがみのきのこ即売会を開催しました。最上地域の若手生産者組織「Professional きのこ山形」の会員が生産したなめこ、しいたけ、まいたけなど６種類のきのこが入ったお得な福袋で、当日は販売開始前から多くの皆様が来庁し、行列ができるほどの盛況ぶりで数量限定の福袋が完売しました！





［森林整備課 29-1351］

## 秋の味覚満載！9月･10 月の地産地消定食

新庄市内の高校生たちが考案してくれた、旬の食材をふんだんに使用した地産地消定食を、最上総合支庁食堂千起で提供しました。活動の様子は最上伝承野菜公式 SNS をフォローしてチェックしてください！

９月 16 日(水)
新庄志誠館高校
「ふるさと彩り定食」



10 月 20 日(火)
新庄神室産業高校
「秋の味覚定食」



［農業振興課 29-1315］

# Information

## 2026 最上伝承野菜・うまいものフェア 秋季開催！

開催期間：11 月 16 日(月)～12 月 31 日(木)

最上地域の伝統野菜「最上伝承野菜」や農畜産物を使用・販売している参加店舗を利用した方を対象に、スタンプラリーを開催しています。抽選で最上地域の美味しいものを集めた詰合せセット等が当たりますので、ぜひご応募ください！

☆参加店舗や詳細は、最上伝承野菜公式 SNS をご覧ください。

Instagram　facebook



［農業振興課 29-1315］

## 「最上地域における儲かる農業の実現」をテーマとした講演を聴きませんか？

日時　11 月 17 日(火)10 時～12 時
場所　最上広域交流センターゆめりあ
主催　最上地域農業・畜産振興協議会
講師　公益財団法人流通経済研究所・折笠俊輔氏

最上農業賞表彰式後の記念講演会として、国内の農産物流通の現状や、当地域で儲かる農業を実現するための考え方についてご講演をいただきます。



農業に携わる多数の皆様のご参加をお待ちしております。

［農業技術普及課 29-1329］

## 新庄・最上ジモト大学 10周年記念イベント

特別ゲスト 勝手にオネーサン

2026.11.3 火 祝
ゆめりあ 花と緑の交流広場
13:00-15:00

県内で活躍するゲストの講演や高校生とのトークセッションを通じて、ジモトの魅力や未来を考えるイベントです！

ご来場お待ちしています！

［連携支援室 29-1236］

## 冬の大自然でととのってみませんか？ 最上小国川『SAUNA×SAUNA』 in 赤倉温泉 開催します！

❖開催日：12 月 5 日(土)11 時 15 分～13 時 15 分
❖会場：わらべ唄の宿　湯の原（赤倉温泉）
❖定員：５組（一組３名まで）※申込多数なら抽選
❖参加費：１組 6,000 円
（ﾄﾞﾘﾝｸ 1 本&湯の原大浴場入浴料ｻｰﾋﾞｽ！）
❖申込期限：11 月 25 日(水)17 時
❖参加特典：
① 陸羽東線代行バスで来場の方に…
・赤倉温泉駅から会場まで無料送迎！
・赤倉さいだー＆陸東ﾛｺﾞ入りｸﾞｯｽﾞプレゼント！
② イベント当日 or 前日に湯の原に宿泊する方に…
・MOGAMI エール＆方言せんべいプレゼント！

▲詳細はｺﾁﾗ

［連携支援室 29-1238］

## 「おいしい適塩ランチ」第３弾をお試しください！

減塩は健康づくりの第一歩




●実施日：11 月 19 日(木)
●場　所：最上総合支庁食堂「千起」
●今が旬！きのこメニューを予定。当日限定の特別メニューです！






［地域健康福祉課 29-1267］

## 毒きのこに注意！

下の図は、本県で誤食が最も多いツキヨタケの見分け方です。中心部に黒いしみが見られるのが特徴です。ただし、ごくまれに黒いしみが見られないツキヨタケもあります。そこで、

食用のきのこと確実に判断できないきのこは絶対に…「採らない！食べない！売らない！人にあげない！」をお願いします。

なお、食べて体調が悪くなった場合には、残品を持ってすぐに病院を受診しましょう。




［生活衛生室 29-1261］